

# 美の國の名残・選<sup>+</sup>

博物館の審美眼

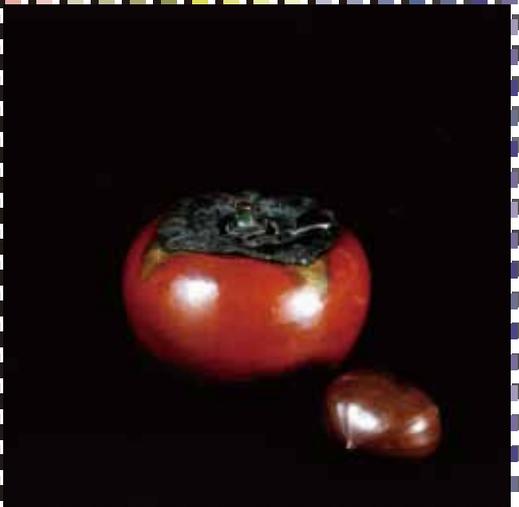
秋田県立博物館出張展示

令和5年4月1日(土)～5月28日(日)

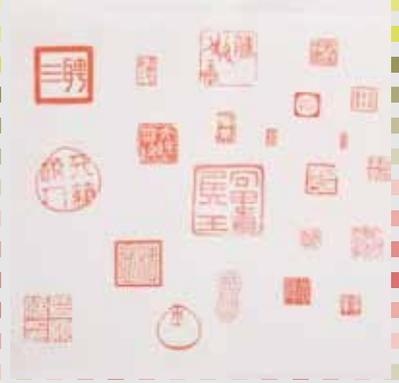
秋田県立図書館・特別展示室◎観覧無料

開場時間◎午前9時30分～午後5時 休館日◎毎週水曜日

令和3年に博物館の収蔵資料を「美」という観点で問いなおした企画展「美の國の名残」から選りすぐりの資料を紹介いたします。合わせて現在調査中の逸品を展示し、美の国秋田に育まれた美意識を探ります。



# 美を かこむ あじは るは



昭和50年の開館以来、秋田県立博物館が収集してきた資料には多くの美術品が含まれていました。その大半は平成6年にオープンした秋田県立近代美術館へ移管され、秋田の美術を網羅するコレクションとなっていきます。美術部門が収集してきた古美術品は民俗、歴史など美術以外の部門に於いて、時代を語る貴重な資料として、その一部が博物館で収蔵され続けました。同じ理由で他部門に於いても、古美術品などの収集が続けられた経緯があります。

しかしながら、博物館の組織において「美術」が部門から姿を消したこともあり、美術資料が顧みられる機会は少なく、収蔵庫の奥深く眠ったままでした。他部門が収集した美術品も参考資料として展示説明されても、美術品としての価値や作者についての言及は多くありませんでした。

令和3年の企画展「美の國の名残」では、およそ半世紀をかけて秋田県立博物館が収集してきた様々な収蔵品に目を向け、「美」という観点で迫りました。歴代学芸員の幅広い見識と感性豊かな審美眼に敬意を表し、「美の国秋田」の遺産としてご紹介しました。今回はその中から選りすぐりの資料と、現在調査中の逸品を合わせて展示いたします。この機会に秋田にもたらされ、風土に育まれた美の世界を御高覧ください。

図版掲載資料名

上段右から1作者不詳「牧谿筆布袋図模写」部分 2額（アギ）・漁具制作用型

3「寺崎廣業印譜」部分 4庄司家押絵（平福穂庵・下絵絵付け）

下段右から5住吉神社奉納足型 6伝構椿山 画稿「平田先生六十八歳肖像」部分

7作者不詳「鳥羽図」部分

表・図版掲載資料名

右側上から1小室怡々齋「騎馬武者像」 2白岩焼「瓢箪型小瓶」

左側上から3田中龍山 香炉「柿」・置物「栗」 4作者不詳「地藏菩薩像」 5漆採取用「かきかま」

# 美の國の名残・選<sup>+</sup>

## 博物館の審美眼

秋田県立博物館出張展示

会期◎令和5年4月1日(土)～5月28日(日)

会場◎秋田県立図書館・特別展示室◎観覧無料

開場時間◎午前9時30分～午後5時 休館日◎毎週水曜日

秋田県立図書館◎秋田市山王新町14-31

お問い合わせ◎秋田県立博物館  
Tel 018・873・4121 Fax 018・873・4123